

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		道路補修事業費 [道路補修事業]									
予算科目	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 1	道路維持費	事業番号	4			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	土木公園（土木）			課	土木		係	課長名	寺島 由紀夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 4			
【施策名】 道路・交通の整備							総合計画書 (ページ)	89			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	沿線住民及び通行者				→ 市が管理する道路の総延長						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	補修が必要な箇所を補修することにより、沿線住民及び通行者が安心して通行できるよう、市民の安全を確保する。				→ 補修件数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	補修が必要な箇所及び市民からの要望箇所の補修工事の実施				→ 補修件数						
			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
3 経費	対象指標	①の数値	m	224,752	225,136	225,136					
	成果指標	②の数値	件	48	37	46					
	目 標	②の目標値	件	44	48	37					
		目標値設定の考え方 活動指標が前年度実績以上となることを目標とする。									
3 経費	活動指標	③の数値	件	48	37	46					
	事業費(実績)		円	57,885,794	40,351,151	45,993,891	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	57,885,794	40,351,151	45,993,891					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	(うち受益者負担)	円	0	0	0					
		所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4					
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費(再任用以外)		円	3,324,000	3,352,000	3,300,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	61,209,794	43,703,151	49,293,891						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和40年代								
	(2) 環境の変化		経年劣化及び上下水道等のライフラインの取り出しによる部分舗装(ツギハギ)が多くなってきている。								

事業名称	道路補修事業費 [道路補修事業]			
担当部署・課長名	土木公園（土木）	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	舗装の劣化及び舗装ツギハギが振動等の原因となり、舗装整備要望が増加している。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装劣化の著しい箇所の早期発見に努め、損傷の拡大対策を行う。</li> <li>・要望箇所の増加に対応するため、さらなる予算増額を行う。</li> </ul>			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算により、要望箇所の増加に対応した。</li> <li>・簡易な整備については、市職員による補修により対応した。</li> </ul>			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急に補修しなければならない箇所を優先的に整備していく。</li> <li>・建築基準法第42条2項道路の道路後退部分の整備を積極的に行う必要がある。</li> </ul>				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 道路・交通の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な路線整備事業（市内道路改良事業）と連携を図る。</li> <li>・建築基準法第42条2項道路の道路後退部分の整備を積極的に行う。</li> </ul>				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
舗装修繕計画の策定、整備箇所の優先順位の決定、緊急的な補修の実施、42条2項道路の整備				